

Medical Specialist

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

vol. 5
2011. 秋

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

2011年 第5号 発行 NPO 法人 良陵協議会 事務局 〒980-8574 仙台市青葉区長町1-1 TEL: 022-717-7817 印刷・装幀 株式会社テンノウ

角藤 芳久先生

宮城県立 精神医療センター

和を以て貴しと為す

～多職種チーム力で支援する～

Data

宮城県立 精神医療センター

Miyagi Psychiatric Center



【病院概要】

病院長	小高 晃
所在地	〒981-1231 宮城県名取市手倉田字山無番地
TEL	022-384-2236
FAX	022-384-9100
E-mail	mpc-info@miyagi-pho.jp
URL	http://www.miyagi-pho.jp/mpc/
病床数	286床

【病院理念】

心のかような良質な医療を提供し、信頼される病院を目指します。

【診療科目】

精神科	歯科		
-----	----	--	--

【当院の特徴】

1. 活性度の高い心理社会的治療(精神科リハビリテーション活動)
2. 多職種によるチーム医療
3. 精神科救急医療(県内唯一の精神科救急基幹病院)
4. 地域精神保健活動の展開

【初期研修】

研修協力病院として、仙台市立病院・仙台赤十字病院・仙台厚生病院・県南中核病院・南東北病院から年間30名程度の初期研修医を受け入れています。

【後期研修】

当院では、'5ヵ年一貫研修'を行うことにより精神科専門医として必要十分な知識と経験が得られるよう充実した指導体制を取っております。また、症例数が豊富なため様々な資格が取得できます。

- 1年目 新患予診から開始し、その後指導医の下で外来・病棟主治医として診療を行う。
- 2年目 主に急性期病棟(スーパー救急病棟)の主治医として病棟診療を行い、外来診療に加え、地域精神保健相談の研修も行う。
- 3年目 慢性期病棟・外来において主治医として診療を行い、各種専門分野(児童・思春期、司法精神医学など)の研修も行う。
- 4年目 精神保健指定医・精神科専門医等の資格取得。
- 5年目 イタリア、カナダ、オーストラリアなど海外研修により諸外国の医療システム等を視察する。

【当院で実施可能な研修】

1. 児童・思春期精神医学の研修：
県子ども総合センター、県立こども病院との連携
2. 臨床研究についての研修：
東北大学精神科との共同研究、連携大学院
3. サイコオンコロジーに関する研修：
県立がんセンター(緩和ケア病棟)との連携
4. 精神保健相談業務の研修：宮城県精神保健福祉センターとの連携
5. 司法精神医学の研修：仙台地方裁判所など司法機関との連携

【学生へひとこと】

関係者の「つながり」を大切にしながらこころの通った精神科医療を行っている活気ある職場です。共に学び共に医療に取り組みましょう。見学は随時可能です。

【地域自慢】

病院周辺は緑が多く、自然に恵まれています。仙台市中心部から南へ15km、JRで名取駅まで15分、仙台空港から車で15分と交通の利便性もよい。釣り、テニス、陶芸などの達人も多く、趣味の研修も可能です。



NPO法人 良陵協議会のロゴマークが決まりました!

NPO 法人 良陵協議会は、卒業臨床研修の充実を図ることを通じて研修医の指導医の要請と地域医療の発展を支援しています。個人・団体の正会員、賛助会員を募集しております。お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局 E-mail secretary@gonryo.med.tohoku.ac.jp

東日本大震災後の臨床研修に関する情報はHPをごらんください。良陵協議会HP ▶ <http://www.gonryo.com>

一 浜寮
東日本大震災までは荒浜の古民家で1日1組限定の高級伊勢焼き料亭だった。今回の大津波で店は跡形もなくなくなってしまったが、女将は仙台で買い出し中だったこのことで無事だった。6月からは晩夏通りになっている。おばんざい浜寮として新しい店をオープンしている。以前のような囲炉裏はないが、刺身、魚料理、枝豆、おから、鳥賊の塩辛など、女将お手製の料理の味は今もなお健在である。



一 陸女将
仙台市東区八乙女にある寿司屋で、名物の頑固な親方と気さくな女将さんと美人の娘さんの3人で切り盛りしている。お寿司はもちろん、河豚料理やクエ料理も絶品。気が合うと人生の相談にも乗ってくれて、心強いアドバイザーももらえる。



ほっ
とする
時

角藤 芳久 先生

宮城県立精神医療センターの指導医、角藤芳久先生に聞く、精神科医を目指す若い研修医へのメッセージ。

宮城県立精神医療センター

和を以て 貴しと為す

～多職種チーム力で支援する～

活動しています。当院の常勤医師は14名おり、臨床経験豊富な指導医が6名、研修医が3名います。新聞記者、エンジニア、高校教師など、他の職業を経験した後に医師になった者や、他科で勤務歴のある医師もいます。ですから医局はバラエティに富んだ楽しい話題で毎日笑いが絶えません。3人集まれば患者の相談やよもやま話が始まり、次第に人が集まってきて活発なイベントやジョークが飛び交います。仲間たちと楽しみながら有意義な研修ができる環境が整っています。

精神科救急から地域まで精神科領域の幅広い研修ができます

「和を以て貴しと為す」この言葉には、ただ「仲良くする」だけでなく、「道理を正しく導くには各人が私心を捨てて公正な議論をすることが大切である」との意味があります。どんな組織にも当てはまる大切なメッセージですが、多くの職種が関わっている当院のような精神科病院では特に重要なことです。

当院には医師・看護師はじめ、精神保健福祉士・作業療法士・臨床心理士など、多くの職種の職員が様々な視点から患者に関わっています。多職種のチーム力で患者を支援し、治療していくことが当院のモットーです。東日本大震災もチームの「和を以て、乗り切り、その後の仮設住宅支援などもチームで

当院は宮城県内で唯一、スーパー救急（精神科24時間救急）を標榜している精神科病院です。精神科救急の現場で、精神運動興奮の激しい統合失調症の患者や希死念慮を伴ううつ病の患者が、数か月の入院治療で将来への希望を取り戻して退院していく姿を見ることができます。一方で、難治性の精神疾患のために何年間も入院している慢性期の患者との関わり方や、その人が地域に戻ってからの生活支援まで幅広く学べ、また、心理社会的支援・精神科リハビリテーション、地域支援も充実しています。

精神科は人生経験の豊富さが診療する上で大きな力になる世界ですので、年齢を問わず、やる気のある方の初期・後期・晩期研修を心からお待ちしております。

質問 1. 座右の銘は？

人間万事塞翁が馬

角藤 芳久 先生 Profile

- 昭和 33 年 東京都出身
- 昭和 59 年 東北大学医学部医学科卒業 / 東北大学放射線科
- 昭和 60 年 竹田総合病院放射線科 / 平鹿総合病院放射線科
- 昭和 62 年 東北大学大学院
- 昭和 63 年 東北大学医学部放射線基礎医学教室
- 平成 5 年 山形市立病院済生館放射線科
- 平成 9 年 スイス国立原子力研究所 PSI (Research Fellow)
- 平成 10 年 東北大学放射線科
- 平成 12 年 宮城県立がんセンター放射線治療科
- 平成 20 年 宮城県立精神医療センター精神科
- 平成 23 年 宮城県立精神医療センター 副院長



精神科病院では県内初の電子カルテシステム

当院では今年2月より電子カルテシステムを導入しています。無駄が多かった医師の業務が削減されたため、医師が考える時間や患者と向き合う時間が増えました。紙カルテの時代は、カルテを探す時間、読めない文章を判読する時間、公的書類を毎回手書きで作成する時間など、煩雑で無駄な業務が山のようにありました。今では、院内のどこにいても同時にカルテを参照できますし、医局で看護記録を見ながら患者の状態を把握することも可能になりました。しかし、何となくもカルテが「読める」ようになり、多職種で情報を共有できるようになったことが当院における電子カルテ化の最大のメリットです。

カール・ユングの言う人生の後半とは、個性化と、自己実現を求めて

私は昭和59年に東北大学放射線科に入局して以来、約23年間、がんの放射線治療に従事してきました。放射線治療計画は今でもCT等を用いた高精度なものが、以前はX線の透視だけで簡便に計画を立てていました。治療患者数も少なかつたため、一人の患者と接する時間は今の倍以上取れていたように思います。治療計画が高度化し、また治療コースが高まって患者数が増加するにつれて、患者とゆつくり話をする時間が次第に

取れなくなってきました。そんな無味乾燥とした日々の業務の中で、私は患者の病気の治療というよりも病に苦しむ人の「心」と癒れ合い、治療していく過程で築かれるその人との関係性の中に医師としての喜びややりがいを感じていたのだと気付きました。49歳で精神科に転科しましたが、放射線科時代の経験が今の診療に大いに役に立っています。

ユングによれば、人生の前半では、職業を得て地位・名誉など社会的立場を求め、家庭を作った外の世界に適応することが重要であるが、人生の後半では自己の内面の声を聞きながら「個性化」や「自己実現」を探求することが大切だそう。自分は何をしたのか、何を成し遂げたかったのか、

質問 2. この病院で研修する良さは？

精神科救急から地域まで幅広い研修ができます

質問 3. 医師を目指す人へのメッセージ

医師の仕事は病いひとを癒すこと

from 研修医



野村 綾先生

また、医局は明るく、とても良い雰囲気です。食事なども先輩・後輩、指導医・研修医、皆で楽しむ感じ。和気あいあいとしていますので、改まって指導を受けるという感じではなく、日常的な会話のなかで相談し、指導を受けながら研修を進めていくことができます。日々の研修は多くの症例を診るため、とても忙しいですが、オンオフの区切りはしっかりとおり、清々しく充実感があります。

私は多くの経験を積めるこの精神医療センターを研修の場を選びました。宮城県で唯一の精神科救急システムの基幹病院であり、精神科における切迫した状況の臨床経験も、指導医のもとで十分に積めます。

最も自分らしい生き方ができるのは、どういう時かなど、自己の内面を見つめる時間が大切ということでしょう。

人間万事塞翁が馬

中国の故事で、人生では何が幸せになるか、何が不幸になるかわからないということの例えです。病気になるって来院する人の大半は、自分不幸だと思いがちですが、入院したこと様々な出会いがあったり、家族の愛情が一層深くなったりと、健康に気をつけるようになってかえって長生きしたりと、悪いことばかりではないと思います。私自身、浪人時代の冬に病的骨折をして手術のために約1か月間入院し、その年の受験を諦めたことが私の理想です。

とがあります。しかし、この時の周囲の人たちの優しさや患者としての体験が、その後の自分の人生に及ぼした影響は大きかったように思います。

患者の「こころを支えられる医師になってください」

病気やケガで療養が必要な患者は、どうしても悪いことばかり考えてしまいがちです。そんな時に治療者である私たちが患者の心を少しでも支えてあげられる、そんな医師像が私の理想です。

